

## 第5回大和郡山病院地域協議会

開催日時 平成29年10月26日(木) 17:00~18:00

場所 大和郡山病院 3階講義室

議題 1.当院における地域連携の現況について  
2.意見交換会

出席者 院内委員

松村正彦(院長)、北大路正顕(副院長)、藤村和代(副院長)、徳田寛  
(事務部長)、柳崎朱美(看護部長)、藤崎栄子(訪問看護ステーション看護師長)、  
今中俊之(総務企画課長)、砂原直美(主任医療社会事業専門員)  
諸越真理子(看護師長)

外部委員

大野忠彦(大和郡山市歯科医師会会長)、小山博司(大和郡山市薬剤師会会長)、  
上田亮(大和郡山市福祉健康づくり部部长)、釜谷宗宏(大和郡山市地域包括  
支援センター所長)、森川百合子(大和郡山市医師会訪問看護ステーション  
やすらぎ管理者)、野田和世(患者・患者家族代表)

欠席者 松本光弘(大和郡山市医師会会長)、

前川紋子(副看護部長)、釜石千恵(経理課長)

順不同、敬称略

司会(今中総務企画課長)

- ・第5回JCHO大和郡山病院 地域協議会 開催について
- ・本日の委員の出席状況報告

開催の挨拶(松村院長)

今年度より前任の寫原院長から病院長職を引き継いだ。当協議会において忌憚のない意見をいただき、病院経営に取り組んでいきたい。

委員紹介

新任院長、看護部長の着任にあわせ改めて院内、院外委員の紹介。

議題1(病院紹介)

当院における地域連携の現況について、別添資料に基づき2題の発表。

① 地域連携室の活動状況

主任医療社会事業専門員 砂原 直美

② 地域包括ケア病棟のお知らせ

看護師長 諸越 真理子

議題2(意見交換)

大野歯科医師会長

口腔ケア、訪問歯科診療について活発に取り組んでいただいております、今後も継続して取り組んでいただきたい。審査会において問題となっているが、入院中の高齢者の褥瘡について、治癒後の退院もしくは退院後の在宅治療か選択肢についてご教示願いたい。

藤村副院長

歯科医師会の先生方においては、入院患者の口腔ケア必要時、迅速に対応していただき  
ており感謝するとともに、今後ともよろしくお願ひしたい。

藤崎看護師長

褥瘡部分について感染等の問題が無ければ、患者の意思を尊重したうえであるが訪問  
対応も可能としている。特定行為研修を終えており医師の指示があれば当方で対応できる  
ので気軽に相談いただければと考える。

大野歯科医師会長

審査会においては、高齢者は栄養状態も悪く治癒しにくいことから難しいと聞く。

藤崎看護師長

相談下されば同行訪問も行えるので対応したい。

小山薬剤師会会長

全ての薬局が医師と連携し在宅と関わっているわけではないので、貴院地域連携室とも  
積極的に連携していきたいと考える。

松村院長

退院前カンファレンスも開催しているので、かかりつけ医だけでなく、かかりつけ薬局  
も参加願ひたい。

上田健康づくり部部長

平成29年度から大和郡山市では一般不妊治療の助成が行われており、現時点での報告  
として、問い合わせ40件、申請8件の実績があり順調に増えてきている。今後、さらに  
一般不妊治療のPRを積極的に行っていきたい。県内他市では実績があるという不育治療  
についても今後、大和郡山市としても研究していきたい。

貴院より積極的提案のある産後ケア事業については、市としても早期の実現ができるよ  
う検討していきたい。出産・子育てにやさしい大和郡山市として助成などを推し進めてい  
きたい。高齢者の支援包括センターだけでなく子育て支援についても進んでいる。

釜谷地域包括支援センター所長

市においては、先週20日に病院、薬剤師、訪問看護等関係者を集め入退院調整ルール  
作り会議を開催した。本日の病院紹介において、地域連携室の活動状況や地域包括ケア病  
棟のお知らせを聞いて取り組みが良く分かった。それぞれの取り組み状況をお互い知って  
おく必要があることから周知について相談させていただきたいと考える。

10月には、医師会の協力を得て在宅医療介護支援センターを立ち上げたので、その面  
においても新しく在宅への取り組みが始まると考える。

森川訪問看護ステーションやすらぎ管理者

市からの委託を医師会が受けて、在宅医療介護支援センターが訪問看護ステーションや  
すらぎ内に設置された。内容的には市民の相談ではなく、ケアマネ等が在宅にかかるよう  
な事案について気軽に相談できるような体制を構築していきたい。

薬剤師会においては在宅患者へ薬品・物品の配達等を精力的に行っていたりしており感  
謝するとともに地域包括の推進においては協同していきたい。在宅介護等の相談があった  
時には地域包括支援センターと調整しながら中立的な立場で其々の患者の立場にあった医

療機関を紹介していきたい。

訪問看護ステーションの現況では、昨年、大和郡山市訪問看護事業者連絡会を立ち上げ関係機関14施設で連絡会を立ち上げ、2か月ごとに情報交換しており医師会とパイプ作りをしていきたいので協力願いたい。

野田患者・患者家族代表

家族が貴院に入院治療でお世話になった。引き続き地域医療を担っていただきたい。

柳崎看護部長

訪問看護ステーションを開設して1年、地域包括ケア病棟や産後ケアもこれから充実させて地域包括ケアを推進していきたいと考えるのでこれからも忌憚のないご意見を願います。

(閉会挨拶)

北大路副院長

多忙の中、地域協議会にお集まり下さりありがとうございました。地域の医療を活性化していくためには病院だけではなく医師会、行政他皆さんの協力が必要であるとする。

ますます緊密に連絡をとりあい地域包括ケアを進めていきたい。

今後も地域協議会への参加をお願いします。本日はありがとうございました。

以上をもって平成29年度第1回JCHO大和郡山病院地域協議会を終了した。